

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	アイベステク(株)姫路 増築工場	階数	地上3F
建設地	兵庫県姫路市飾磨区妻鹿	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	172 人
地域区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2020年9月25日
敷地面積	8,061 m ²	作成者	
建築面積	2,922 m ²	確認日	2020年9月25日
延床面積	4,261 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

音環境	3.0
温熱環境	2.7
光・視環境	3.6
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

機能性	4.0
耐用性	3.1
対応性	3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.2

生物環境	2.0
まちなみ	5.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.8

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.8

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	1.9
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	NA
地域環境	2.6
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>外壁に耐汚染機能の断熱パネルを用い美観を確保する。外壁材のフロ</p> <p>ンゼロ化、環境負荷低減、ライフサイクルコストの低減 設備機器老朽化に対応した屋外メンテナ</p> <p>ス通路の設置及び将来機器取替時のクレーンの設置が容易な場所に設置した。</p>	
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>工場系と事務所系を動線上分離しエリア分けを行った。工場と事務所は遮音性の高いALCの壁を設けた。工場内も空調を行い従業員の働きやすい環境を設定した。事務所部分は将来性の拡張が容易なOAフロアの採用、高い</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>既設建物と同一棟の増築工事。東、北面に十分空間を取り、道路より建物位置の後退をしその間に植栽を行う。又、建物の壁を遮音性の高い仕様にし、かつ窓を最小限にして外部に漏れる音を軽減している。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>自動消灯、LED器具の採用。ソーラー発電の採用</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>光害の抑制のために道路より建物位置の後退する事で緑地を取りグレアを抑える。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される